

第8回奥入瀬溪流利活用検討委員会の開催について

- 「奥入瀬溪流」は、我が国が世界に誇る貴重な自然環境や美しい自然景観を有しており、後世に守り伝えていかなければならない国民共有の財産です。
- 国民の貴重な財産である奥入瀬溪流の自然保護と利活用を両立させる交通マネジメントなど、溪流に並行している国道102号の利活用策を検討することを目的に、平成25年10月、奥入瀬溪流利活用検討委員会を設立しました。
- 第8回目となる委員会では「交通マネジメント等に関する進め方」として、例年開催しているマイカー規制のほか、昨年度より取り組んでいる「モビリティ・マネジメント」についての今年度の実施方針や奥入瀬溪流の将来を見据えた「交通システム」の具体的な検討等について意見交換を行うため、下記のとおり委員会を開催します。

記

1. 日時 : 平成30年7月30日(月) 13:30~15:30
2. 場所 : 青森国際ホテル 3階 孔雀の間
3. 議事 : 1) 交通マネジメント等に関する進め方
2) 交通システムについて
3) 今後のスケジュール(案)
4. 委員名簿 : 別紙1参照
5. その他 : 会議は公開で行いますが、カメラ撮り等は、冒頭から挨拶までとします
なお、会場の都合により一般の方の傍聴はできません。

<記者発表先: 青森県政記者会、建設関係専門紙>

問い合わせ先

【奥入瀬溪流利活用検討委員会 事務局】

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 (直通) 017-734-4570
調査第二課長 相馬 弘文 (内線 451)

青森県 県土整備部 道路課 (直通) 017-734-9651
整備推進グループマネージャー 田中 仁司 (内線 6712)

奥入瀬溪流利活用検討委員会

委員名簿

氏名	所属・役職等
石田 東生	筑波大学 名誉教授
泉山 元	青森経済同友会 幹事
内山 清	青森中央学院大学教授
九戸 眞樹	弘前市教育委員会 委員長(～H30.5)
幸丸 政明	東京環境工科学園 参与
武山 泰	八戸工業大学教授
谷口 綾子	筑波大学大学院 准教授

敬称略・五十音順

オブザーバー

氏名	所属・役職等
三村 申吾	青森県知事
小山田 久	十和田市長
三浦 朋子	青森県 環境生活部長
福士 祐治	青森県 県土整備部長
秋田 佳紀	青森県 観光国際戦略局長
櫻庭 憲司	青森県 上北地域県民局長
小沢 晴司	環境省 東北地方環境事務所 所長
尾関 良夫	国土交通省 東北運輸局 局長
津田 修一	国土交通省 東北地方整備局 局長
阿部 悟	国土交通省 東北地方整備局 道路部長
巖倉 啓子	国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所長



第7回検討委員会の様子(H30.3.8)

クルマを使わず






静かな 渓流を感じよう。

おいらせ
奥入瀬
せせらぎ体感プロジェクト
2018.8/25土・26日
午前10時～午後2時

期間中、奥入瀬渓流区間への車両の進入はお控えください。
交通規制ではありません。皆さまの参加により、付近の安全性を高め、渓流の“音環境”を復元します。

8/25・26 はシャトルバス(有料)を運行。参加者には各種特典をご用意しています。

受付場所



特典1 ガイドとともに散策(無料)

9:40、10:00、10:20 奥山駐車場(臨時)バス停発のバスを利用した方が多く、石倉バス停で降車された方は十和田商業学校の生徒が、子ノ口バス停で降車された方はNPO法人十和田奥入瀬せせらぎ大学がボランティアガイドとして奥入瀬渓流区間に案内いたします。

特典2 奥入瀬渓流水プレゼント!

受付時にお1人さま1本、奥入瀬渓流水(500ml)をプレゼントいたします。

特典3 区間内に、割引商品あり!

受付時にお渡しするリストバンド提示で、温泉割引など、素敵な特典が受けられます。特典のリストは、受付時にお知らせします。



8月 強化月間 8月を強化月間として、渓流区間内での駐車率抑制の呼びかけや、仮設トイレの設置を行います。

十和田市 青森県 国土交通省

担当部署：青森河川国道事務所調査第二課
TEL:017-734-4570 (平日9時～17時)

プロジェクトの詳細は、WEBサイトをご覧ください。
せせらぎ体感プロジェクト
<http://oirase-seseragi.com/>



H30モビリティマネジメント(奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト)のポスター